

1 目的

ジェンダーギャップ解消に取り組んだ際の県内企業等における経営効果を調査分析し、県内企業等のジェンダーギャップの解消に向けた取組の拡大や横展開をめざす。

2 調査の内容

(1) 県内企業等5社程度にヒアリングを実施し、優れた実践事例等を収集する。

<ヒアリングの主な内容>

	カテゴリ	内容
1	採用	多様な人材の採用など
2	人材育成	ジョブローテーション、スキル習熟など
3	評価・処遇	評価制度、処遇改善など
4	働き方改革・業務改善	デジタル化、チーム制、業務効率化など
5	両立支援・福利厚生	ワークライフバランス、短時間勤務、福利厚生制度など
6	定着	働きやすさや働きがいの向上、離職防止の取組など

(2) ヒアリング結果等から、県内企業等がジェンダーギャップ解消に取り組んだ際の効果とそれまでのプロセスやその関係性を整理する。

<整理の主なポイント>

多様な人材（性別、働き方、キャリアや経験など）の活躍
制度（ハード面、ソフト面）の構築
事業所内の効果（生産性の向上、人材確保など）
経営効果（業績向上、企業の存続など）

3 今後のスケジュール（予定）

夏頃 ヒアリング調査

秋頃 第3回三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略（仮称）検討会議にて報告

年度内 三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略（仮称）に反映